



ま ち よ あ モノクロの街の夜明けに

セペティス作 野沢佳織訳 いわなみしよてん 岩波書店

一九八九年のルーマニア。学校には「社会主義、万歳」の標語が貼られ、国中に大統領の写真が飾られている。秘密警察にたえず監視され、言動に気が抜けない。高校生のおぼくは、そんな体制に内心疑問を持っている。だがある日、そのぼく自身が「密告者」となってしまった。

強要される密告の罪悪感、人を疑う嫌悪感、自由への希求、その中で募るガールフレンドへの思い。民衆による革命前夜の独裁国家、そこに生きる若者の心情を克服に描いた物語。

